

腎臓「ミニマム創手術」も

膀胱・腎細胞がん

今回の病院の実力は、「膀胱がん」と「腎細胞がん」を取り上げる。一覧表では、二つのがんの治療件数の合計数が多い順に掲載した。

膀胱がんの外科的治療としては、「経尿道的切除術」と「全摘手術」がある。

経尿道的切除術は「膀胱鏡」という特殊な内視鏡を尿道から入れ、膀胱を確認しながら電気メスでがんを切除する。一方、がんが進行して経尿道的切除術で取り切れない場合

は、膀胱などを摘出する全摘手術が行われる。

膀胱は尿をためる袋の役割をしており、摘出すると尿をためることができなくなる。

このため通常は、腸の一部を使うなどし、尿をためる袋や尿の通り道を作る手術も合わせて行われる。

腎臓は、尿を作り出す臓器で左右に一つずつある。腎細胞がんは、水分など必要な成分を再吸収する「尿細管」という組織にできるがんだ。

他の臓器に転移がなければ、一般的には、がんができた腎臓を摘出する「全摘手術」が行われる。腹部を切開する「開腹手術」、小さい穴を開けて腹腔鏡などを使って行う「腹腔鏡手術」、小さく切開

た腎臓を摘出する「全摘手術」が行われる。腹部を切開する「開腹手術」、小さい穴を開けて腹腔鏡などを使って行う「腹腔鏡手術」、小さく切開

がんの広がりが大きくない場合は、腎臓の一部だけを摘出する「部分切除」が行われる。全摘手術と同様、三つの方法の合計数を掲載した。

膀胱がんの自覚症状は、ほとんどが血尿。1回でも見た目が赤い尿が出たら、放置せずに泌尿器科の専門医にかかることが早期発見につながる。

腎臓がんの部分切除は、出血の多さが課題となっている。そのため、一般的には腎臓につながる動脈の血流を一時的に遮断（阻血）して、がんを切除する方法が用いられている。しかし、阻血が長引けば腎機能が低下する可能性がある。当院では、電気メスをうまく使うことで、動脈を

赤い尿出たら専門医へ

都立多摩総合医療センター
泌尿器科部長
長瀬泰氏



膀胱がんは、がんが筋肉の層に浸潤しているかどうかで、全摘手術をするかの判断基準となる。とはいえ、筋肉まで達していないがんがほと

んどなので、膀胱鏡を使ってがんを切除する経尿道的切除術が主流だ。

全摘になると、尿路変更の手術が必要で、高齢の人には負担が大きく、合併症が起きる可能性もある。抗がん剤を使った治療も取り入れ、できる限り膀胱を温存するようにしている。

大事なのは、がんの再発を

全国の調査結果は「くら健康面」に掲載しています。次回は4月5日「耳・鼻・のどの手術」の予定です。

病院の実力「膀胱・腎細胞がん」

医療機関別2013年治療実績
(読売新聞調べ)

医療機関名	膀胱がん全摘手術(件)	膀胱がん経尿道的切除術(件)	腎細胞がん全摘手術(件)	腎細胞がん部分切除(件)
東京女子医大	19	143	102	163
がん研有明	43	226	23	55
東京医科歯科大	8	206	36	72
東京大	21	162	35	59
杏林大	18	200	37	20
慈恵医大	17	182	38	28
順天堂大	16	165	36	9
東京医大	9	157	18	15
帝京大	10	135	43	10
都立多摩総合医療セ	7	140	34	14
同愛記念	1	159	20	7
国立がん研究セ中央	24	117	32	7
日本医大	11	112	19	27
東邦大大森	6	130	24	6
虎の門	11	114	27	13
順天堂大練馬	5	139	14	2
武蔵野赤十字	14	122	14	8
日大板橋	6	127	12	9
慈恵医大第三	10	124	15	3
慈恵医大葛飾医療セ	13	110	21	3
東京女子医大東医療セ	8	87	29	23
国・東京医療セ	12	110	14	10
三井記念	8	112	14	7
長久保	8	126	2	1
昭和大	3	105	24	4
東京女子医大青山	0	123	2	6
公立昭和	10	91	14	13
都立墨東	8	91	18	5
東部地域	10	100	5	5
慶応大	5	69	31	15
NTT東日本関東	9	77	10	20
日赤医療セ	7	78	21	8
国立国際医療研究セ	10	85	11	4
東京警察	1	95	8	6
町田市民	5	91	8	2
都立駒込	5	73	12	15
多摩南部地域	4	85	4	7
関東中央	0	82	12	2
東海大八王子	4	71	17	0
東京医大八王子医療セ	4	70	8	4
地・東京新宿メディカルセ	7	66	12	0
東京通信	6	65	12	2
順天堂大東京江東高齢者医療セ	3	79	2	1
国・災害医療セ	2	64	15	3
東邦大大橋	2	67	10	4
板橋中央総合	4	62	11	2
都立大塚	0	62	8	7
練馬総合	6	64	5	1
武蔵野陽和会	2	67	3	2
江東	2	60	7	2
立川	5	43	14	4
河北総合	4	53	5	4
稲城市立	4	51	5	3
日本医大多摩永山	1	50	8	2
青梅市立総合	4	48	6	2
東芝	2	48	7	3
北里研究所	3	43	7	6
多摩北部医療セ	3	51	3	1
地・東京山手メディカルセ	2	36	15	3
JR東京総合	0	43	9	0
江戸川	1	31	14	3
三楽	0	40	4	0
国際医療福祉大三田	2	27	12	2
厚生中央	1	38	3	0
豊島	0	36	5	1
大森赤十字	1	34	5	1
高木	1	33	5	0
都立広尾	6	24	3	4
玉川	0	30	5	0
聖路加国際	3	0	13	18
あそか	3	29	1	—
平成立石	2	31	0	0
荏原	—	25	5	1
東京西徳洲会	0	16	0	3
多摩丘陵	2	14	—	—

「国」は国立病院機構。地・は地域医療機能推進機構。「セ」はセンター。「—」は無回答または不明。